



担当=DZHフィナンシャルリサーチ・石原敬子

トムソン・ロイターのフィナンシャル・リスク部門の名称はRefinitiv(リフィニティブ)に変わりました

知りたい
投信 なるほど
リップパー

低金利時代が促すシニアの投信保有

「投資を楽しむため」との回答も

シニアのみなさん、どのような資産運用をしていますか。2020年1月に投資信託協会が「60歳代以上の投資信託等に関するアンケート調査」を行い、3月に報告書をまとめました。調査対象は日本の60歳以上の個人です。インターネット調査なので、パソコンやスマホを日常的に使う人が回答したと推測できます。

60歳代以上で株式や債券、投資信託などに投資している、または持っているという

人は43.3%。調査時点で投信を持っている人は22.5%で、さらに高収入ほど投信を持つ割合が多くなっています。

バランス型でリスクを分散し、分配金という定期収入を得るスタイルが主流のようです=左下グラフ。現在、投信を持つ人の半数以上が、毎月または2カ月に1回の分配金を受け取る投信を保有。定期的なお小遣いとして、リタイア世代には根強い人気があります。ただし、分配金額は運



60歳以上の投資家が持っている投信

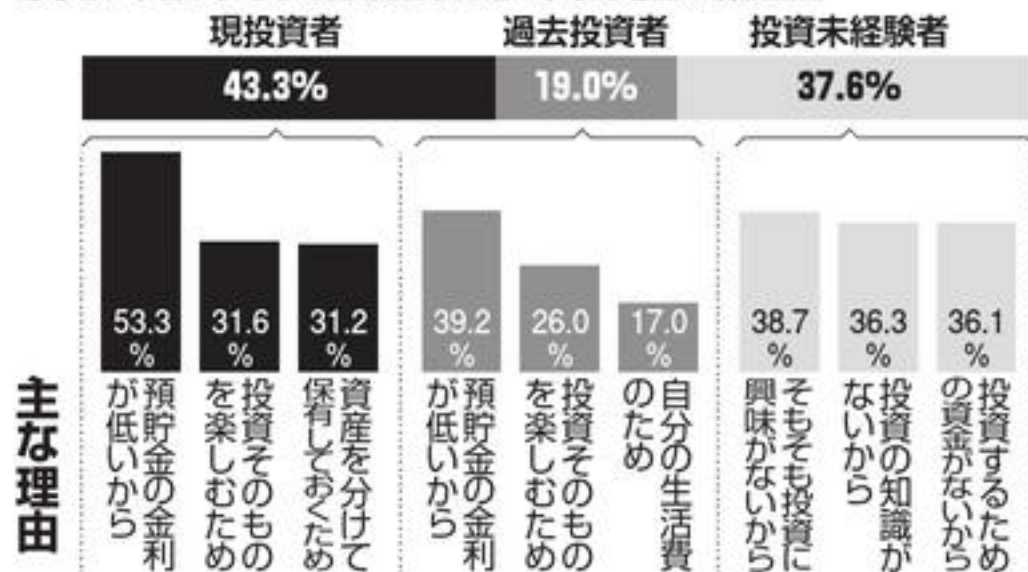
投資信託協会「60歳代以上の投資信託等に関するアンケート調査報告書(2020年3月)」から。現在投信を持つ616人のうち、それぞれの商品種類を保有する人の割合(複数回答)

用次第で減ることもありません。商品の内容をしっかり理解して投資しましょう。2位のバランス型は、運用対象を株式や債券、不動産などに分け、投資地域も世界各地に分けた投信です。

現在投資をしている人と過去に投資していた人に、投資の理由をたずねたところ、「預貯金の金利が低いから」という回答がトップ=右下グラフ。「資産を分けて保有しておくため」という考え方も、私は賛成です。

60歳以上の投資経験の有無と主な理由

投資信託協会「60歳代以上の投資信託等に関するアンケート調査報告書(2020年3月)」をもとに筆者がまとめた。投資経験ごとに示した理由は複数回答



主な理由